

小牧市おもちゃ図書館きららは しょうがいや発達に不安のあるお子さんを対象に
おもちゃの貸し出しや遊びの企画(あそぼうデイ)をしています

きららニュース

発行:小牧市おもちゃ図書館きらら

〒485-0832

小牧市応時三丁目 230 番地

ディサービスひかり内

☎(0568)71-1003

みなさん、こんにちは！新しい年がスタートしましたね。

クリスマスコンサートに参加して下さったみなさん、ありがとうございました♪

2022年度は7月に夏休みわくわく縁日、12月にクリスマスピアノコンサートのあそぼうデイを開催しました。コロナ状況とにらめっこしながら感染症対策を考えながらの企画準備でしたので、2回とも無事行うことができて本当によかったです。

子どもたちやご家族の笑顔に出会えることで、きらら一同元気をもらっています！！



それから、おもちゃ図書館きららにはたくさんのすてきなおもちゃがあるのでぜひ活用して遊んでくださいね。

まだ登録していないよという方は利用登録が必要になりますので職員までお声かけください。

先月おもちゃの消毒・整理で集まった時、今まであんなことあった、こんなことあった話で盛り上がりました。

きららニュースの第一号は
1993年！ちょうど30年前！

当時は手書きの文字や
イラストだったよ(笑)

いろんなことやったよね！
忘れちゃってるけど(笑)

小牧支援学校へ出張ボランティアに行っ
たよ。学校から「月に1度学校へおもちゃを
持って来てほしい」って頼まれて。

きらら劇場凝ってたよね～。人形から手作
りって～(笑) おみやげまで作ったよね！
ブラックシアター製作とか美術部か？って
くらいがんばった！

作って食べよう企画
またやりたいよね～

プレイルームに所狭しとおもちゃを敷き詰めたにぎやかなあそぼう
デイや数々の思い出を振り返って懐かしむボラたちでした。
これからも憩いの場になるよう続けます。よろしく願いしま～す♪

2022年12月18日(日) ピアノコンサートの報告

KAKERU さんをお招きしてふれあいセンターでクリスマスコンサートを行いました☆



KAKERU さんのピアノ演奏にどんどん引き込まれました。

「アンパンマンのマーチ」「おもちゃのチャチャチャ」「クリスマスメドレー」では手拍子しながら盛り上がり、マライアキャリーの「恋人たちのクリスマス」で楽しくて踊りだす子もいてほっこり。M さんのリクエスト「大きな古時計」で思いがけず感動してしまいました。いつまでも聴いていたかったなあ～。音楽ってほんと人を癒してくれますね～♪心がこもった演奏、そしてリクエスト曲にもたくさん応えてくださった KAKERU さんでした。

きららからは、子どもたちに手作りおもちゃの“ゆらゆらサンタさん”をおみやげでお渡ししました。(紙コップの下にガチャガチャカプセルをつけて作ったおきあがりこぼしです)



A さんの感想

息子は音楽に合わせて踊ったり、
親子共に楽しめました。
ありがとうございます。

Y さんの感想

突然の安室ちゃんのリクエスト曲
ありがとうございました。
アンパンマンの曲で元気づけられました。
「戦場のクリスマス」最高でした。

KAKERU さんが帰り際に「来年も呼んでくださいね」

と言ってくれました。いつもやさしいお兄さん。昨年ご結婚されたとのこと。

おめでとうございます！私がリクエストしたスピッツの「楓」よかったです。心にしみました。 ポラ平野

ステキな布おもちゃの寄付をいただきました！

2023年1月のはじめ、小牧市の中央図書館よりお電話をいただきました。内容は、布絵本やフェルトのぬいぐるみを寄贈してくださる方がみえ、子どもたちに手先を使いながら楽しく遊んで欲しいというご希望との事でした。ぬいぐるみなど布製の物は消毒や管理がしにくいので受け取れないかもしれませんができれば一度見せてくださいと伝えると、その日のうちに持ってきてくださいました。寄贈者は城山在住の長塚様です。

見せていただくととても素晴らしくて、ご本人の作られた布絵本は図書館に幾つか寄贈されているそうですが、今回は作家さんが作られた布の着せ替え人形や、ままごとセット、布で作ったお寿司やピザ等、「すごーい！！」「かわいい！」と目をみはる物ばかり。こんな貴重な物をなぜ？とお伺いすると、3月に転居するので色々整理されているとか……。有り難くいただくことにしましたが、パーツも細かく、無くなってしまうと補充しにくいので、おもちゃ図書館で管理しつつ、少しずつ皆さんにも遊んでいただこうと考えています。人形などは久しぶりに人形劇を作ってみようかとボランティアで話しています。

また、一つあった布絵本「おかあさん」は、とてもほっこりした内容だったので、あさひ学園のひよこ組さんにお貸ししたら、さっそく読んでいただき、A君のママから「すごくよかったぁ」と言っていただきました。あそぼうDAYや、少人数で遊ぶ時などに少しお出ししようと思っていますが、来館して、お人形やおままごとでじっくり遊べそうな子どもさんがみえましたら、ひかり職員に声をおかけください。持ち帰りはできませんが、お母さんと一緒に遊んでいただけたらと思います。

長塚さんは、子どもたちがおもちゃで遊んでいる間に、別室で簡単な布を使った人形作りなどできたらいいですねと言われたので、ぜひ講師で来てくださいとお願ひしましたが、転居先が遠い事と、年齢も70歳を超えていて…という事でお受けいただけませんでした。確かにお母さんたちも子どもと離れて何かを作る時間を楽しめるといいなと思いましたので、きららでなにかできないかちょっと考えてみたいと思います。

そして、長塚さんは、私たちが「こんな布絵本があります」と「おおきなかぶ」の布絵本を見せると、「まあすごい！」と言いつつ、かぶがだいぶいたんでいるので直してきていいかと言われ、後日きれいで、新しいかぶを作ってきてくださいました。本当に感謝です。いただいたおもちゃは、大切にに使わせていただきます。本当にありがとうございました。

(御手洗)





『パン どうぞ』

作:彦坂有紀・もりといずみ
出版社:講談社

あたたかみのあるシンプルな表紙にひかれて手にとりました。作者が木版画家だと知り、目を近づけてマジマジと見ると、あ、ホントだ、版画だ。そのくらい、版画とは思えないリアルさで、どのページにもおいしそうなパンが登場します。このほかにも、コロッケ、おすし、おもちなどをモチーフにした絵本も。気になって彦坂さんのサイトを調べたら、カルビーの『じゃがビー』のパッケージも描かれているそうですよ。



『ハナはへびがすき』

作:蟹江杏
出版社:福音館書店

へび、カエル、トカゲ、ミミズ、クモ、コウモリ。これ、ゼーンバハナがすきなもの。そんなハナを「へんなこだね」って、みんなはいうけれど、それぞれの生き物がすきな人には、理由もちゃんとあって、ハナの感性が感じられます。ハナの「すき」はちょっと理解されにくいけれど、たったひとりわかってくれる女の子に出会って、ハナの世界は広がります。



『ゆりちゃんのおひなさま』

作:花山かずみ
出版社:PHP 研究所

ひょんなことから、おひなさまに名前をつけてあげたゆりちゃんは、ネコのタマとおひなさまの世界に招待されます。おはなしをおもしろくしているのは「わらわにも、よきなをつけてたもれ」といった平安言葉。ぜひ声を出して読んでみてください。それにしても、三人官女が、三人まとめて呼ばれることに不満をもっていたとは！



『くらやみきんしの国』

作:エミリー・ハワース＝プース
出版社:あかね書房

くらやみがこわい男の子は、やがて王さまになり、くらやみを禁止にします。絵はユーモアがあり、クスッと笑えるシーンもありますが、内容はブラックジョーク。まちがった情報やうわさにふりまわされる国民の姿は、今のわたしたちにも通じるものがあります。最後に、くらやみをとりもどすのは、かしこい国民たち。大切なことをおしえてくれるおはなしです。

昔、本屋のバイトで、本の並べ方に名前があることを知りました。背表紙が見えるように棚に入れるのが「棚差し」。表紙を上して積み重ねるのが「平積み」。表紙を見せて立てるのが「面出し」。毎日届くたくさんの本を、ベテランの店員さんは、どこに何をどのように並べるか、そのスペースを作るために何を下げるのかを判断し、サクサクと並べていきます。新米の私にはそれがとても難しく、それまで何気にみていた本の並べ方には、店員さんの経験と知識と戦略があるのだと知ったのでした。図書館へ行くと、面出しの絵本が気になります。並べた職員さんのおススメのツボがあるに違いないと思うからです。(ひらて)